

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第6回 大平地域会議
開催日時	令和5年9月28日(木) 午後6時30分 開会 午後8時08分 閉会
開催場所	プラッツおおひら 2階 多目的ルームA
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 地域予算提案事業について 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
会長	3 議事 (1) 地域予算提案事業について
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ① 提案アイデアの整理と、事業内容の検討について ・前回は、各委員からの提案アイデアを、地域未来ビジョンにおけるテーマに当てはめる分類作業もしていただいた。その提案アイデア一覧表を、分類の結果ごとの順になるよう再度整理したものが今回の資料である。 ・あくまでも市が実施する内容を提案するという制度なので、市側の考え方とマッチングさせていく必要があると考えている。また、予算も含め、地域予算提案制度上の制約もある。そのため、委員のご意見を尊重しながら、事務局の意見や事業アイデアなども追加等し、さらにそれぞれのアイデアのメリット、デメリット、効果などを想定したコメントを入れて整理してみた。 ・すべてのアイデアについて具体化事業化を検討していくことは時間的にもできないので、徐々に精査絞り込みをしていきたい。そのために、今回の資料中に、今後優先検討するアイデア候補を複数示した。

	<p>それぞれのアイデアが具体化に至っていない段階なので、判断が難しい面があるため、今回は、今後進めていくにあたっての「方針」や「考え方」という観点のすり合わせのような意味で協議をしたい。つまり、今回は、今後はこれらのアイデアを軸に、具体化をすすめていくという「方針」でよいかを、委員と事務局で共有、意見交換をし、次回以降の検討につなげていきたい。</p> <p>・[アイデアNo.1～No.27 について、事務局より説明]</p>
会長	資料に基づきすべてのアイデアに対しての説明があったが、委員から質疑やご意見等、何かあるか。
委員A	<p>No.26 移動式赤ちゃんの駅のアイデアについて。例えば小山市ではもっと各所に配備されており、仕様も良いもののようなので、他市町の事例も参考にしてほしい。とはいえ、小山市でも認知度が低く、利用が少ないようだ。</p> <p>栃木市でももっと周知して、利用数を増やすと、各所に置いた方がいいという機運になっていくのだろうと思う。まずは、現状品の横幕の隙間の改善をしてから、利用増加を図り、増設するという順序になるのだろうということに理解した。</p>
委員B	No.21 かかしの里のテニスコートのアイデアについて。以前使ったことがあるが、最近の利用者はいるのか。
委員C	少数ではあるが利用者はいる。
委員B	<p>利用者がわずかであると認識しながら、テニスコートとしてしか利用できないとの条例上の定めになっているのは、おかしいと思う。他の用途にも使えるようにするなど、使用ルールの改善の余地があるように思う。</p> <p>しかしながら、あの場所は、北側の山の陰になる位置にあり、沢からの水の関係もあって、冬季は凍って滑るような状況だったと記憶している。そのため、他用途の何かを検討するにしても、条件的に難しいかもしれない。</p>
委員C	資料のとおり、外観を少しでもきれいにすれば利用者が増えるのではないかと、どのアイデアも分かる。しかし一方では、利用者が少ないのに費用をかけるのか、との考えもあるだろうから、判断が難しい面がある。
委員A	<p>No.24 外国籍の方々との交流のアイデアについて。「ゴミの出し方が正しく伝わっていない」、「外国籍の方が悪意なくフレンドリーな気持ちで子どもに声をかけたとしても日本人側の偏見で不審に思ってしまう不審者情報のメール配信になってしまっている場合もあるかもしれないのではないか」、などの意見が、昨年度も地域会議で出ていたように記憶している。そのため、多文化共生を図る事業の重要性を感じている。No.8 ゴミのポイ捨て防止看板の外国語表記のアイデアにも関連するかもしれない。例えば、大平運動公園でゴミ拾いのイベントが催されているが、外国籍の方々や子どもたちやPTAなどを交えて、ゴミ拾いイベントを実施して啓発するというのもおもしろいかなと思った。</p>
委員D	委員Aからイベントのアイデアの提案があったが、地域予算提案制度に当てはめた場合の考え方、事業化の組み立て方は、どうなるのか。

事務局	あくまでも、市が実施する事業に予算をつけることを提案するという制度となっているため、制度のルールとしては、補助金交付事業は提案できないことになっている。誰が実施主体になるかを考えなくてはならず、市以外の場合は補助事業となってしまう。そのため、イベント事業の場合は、例えば、実行委員会や国際交流協会や任意団体などが実施主体となるケースの方が、事業化がスムーズと考えられるが、このような実施主体への事業補助金という事業化の組み立ての提案はできない。
委員D	No.16 西地区公民館の設備修繕のアイデアについて。地元自治会も多く利用しているので、もし実施になるのなら事前に周知して理解を図ったほうがよいのではないか。
事務局	仮に事業実施になる場合、所管が大平公民館係となるのでこの場で確定的な回答はできないが、事務局としては、大がかりに改修するような場合は、当然に地元自治会や関係各所と事前に周知調整したうえで実施するべきものと考えている。なお、既存の設備を修繕する程度であれば、特にそこまでの調整は不要だろうと考えている。
委員E	大平地域の地域予算提案総額は、今後増額になる見込みはあるか。
事務局	明確には答えられないが、申し訳ないが、財政状況を考えれば増加することは考えにくい。
委員E	全市的な事業は制度上できないとあるが、今回の委員から出された中にある全市的なアイデアは、行政に反映されるのか。
事務局	大きな施設をつくるなど、全市的な調整や計画が必要な事業の場合は、行政が市民の皆さまからアイデアやご意見を募る方法としては、その事業個別に検討委員会を設置したり、パブリックコメントを実施したりすることが想定される。検討委員会に地域会議から推薦委員が入る場合もあるだろうし、地域会議に付議されて事業実施所管職員が説明に参る場合もあると考えられる。全市的な大きな事業の場合は、地域会議の委員としてのご意見の反映は、そのような場になるだろうと考えている。
委員B	今回このように多くのアイデアが出てきたが、地域予算提案制度に合致しないとしても、他の方法等で実施できるようなアイデア等は、市の関係部署に伝わるのか。伝え方は、事務局からでも、地域会議としてでも、どちらでもよいと思っているが、どうか。
事務局	関係する部署に、まずは事務局から担当者レベルで伝えたいと考えている。このように地域会議でアイデアやご意見があったことを伝え、地域課題解消に向けた事業の実施を検討してもらう、という方法のほうがスムーズだろうと考えている。
会長	具体化しないと判断が難しい面がある。地域予算提案制度のルールに合致する必要もある。そのような中で、本日も委員からのご意見等をいただき、有意義な協議

委員	<p>はできたと思う。</p> <p>ほかに、ご意見等がなければ、今回は、事務局の説明にあったように、資料に複数示された、これらのアイデアを軸に、具体化をしていく方針として検討を進めるという考え方でよいのではないかと思うが、いかがか。</p> <p>次回以降も意見を出し合って、さらに絞っていけたらよいと思う。</p> <p>[異議なし]</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 令和6年度実施分地域予算事業計画書の提出式について（連絡(再)） [事務局より説明]</p> <p>(2) 第1回栃木市地域会議連絡調整会議について（連絡） [事務局より説明]</p> <p>(3) ふる里大平スポーツフェスタ 2023 について [事務局より説明、周知]</p> <p>(4) 大平文化祭について [事務局より説明、周知]</p> <p>(5) 次回 大平地域会議 令和5年11月22日(水)午後6時30分から プラッツおおひら 2階 Aルーム</p>
事務局	<p>5 閉会</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

藤野 晴彦 会長	藤倉 竜広 副会長	阿部 誠 委員	荒山 菜穂子 委員
伊藤 政博 委員	植原 瑞恵 委員	尾花 正人 委員	川田 健太郎 委員
清水 泰子 委員	仲三河 マコト 委員	柳田 和子 委員	

欠席者（委員）

青木 理恵 委員	小堀 和子 委員	田村 誠志 委員	三井 健 委員
----------	----------	----------	---------

出席者（事務局）

大平地域まちづくりセンター所長（大平地域づくり推進課）	小島 清 課長
大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課）	小林 勝利 課長補佐
同	三浦 正明 主査
同	山口 友香 主査

傍聴

なし